

マンションの新型コロナウイルス情報について

マスクは？

本当にマスクをつける必要があるのは、感染者と濃厚な接触をする可能性の高い人々だけだ。東京は人口密度の非常に高い所と考えれば都民はマスクが必要になる。

判ってきたコロナウイルスの種類

新型コロナウイルスには、広まっている70%が進化したL型と動物から来た古いS型と言われていますが、ハッキリとその違いが判明したわけではありません。

ウイルスとは？

これまで、人に感染を起こすコロナウイルスは6種類あり、そのうち4種類は普通の風邪の原因ウイルスです。残りの2種類は、「中東呼吸器症候群(MERS)」「重症急性呼吸器症候群(SARS)」という感染症の原因ウイルスです。今回の新型コロナウイルス感染症は7番目の新しいコロナウイルスが原因です。今後、ワクチン等により人が免疫を獲得すれば、将来、風邪やインフルエンザと同等の疾患として扱われるようになる。但し、現在は治療薬がはっきりと分かったわけでもなく、DNA・RNAワクチンが開発されたが臨床試験等の段階にあることから、依然として危険な感染症と言われている。

サテライトアウトブレイク（過去の感染事例）

2003年SARS流行時、香港の高層住宅内で集団感染が発生し42人が亡くなりました。同一の下水管で繋がっている各系室のトイレ、バスルーム、洗面台、キッチンの流し等の床下排水管内へ流入することが考えられます。そのウイルスを含んだ排水の小さな飛沫が、排水溝経由で各系列を汚染しながら拡散してしまったそうです。排水管が損傷して漏水した場合は非常に危険です。換気扇を使用する時は、外気を取り入れることをお勧めします。

**マンションのコロナウイルス対策は住民の皆さん全員の問題です
マンションを守るには、これまでの経緯を知らなければなりません**

昨年12月から1月までの日本への中国人渡航者数160万人のどれだけが東京において、濃厚接触が行われたかは検査が進まないために全く分かっていません。1月の屋形船感染だけで濃厚接触があったわけでもなく、都内において無症状や非常に軽症な感染者との水面下での濃厚接触が知らず知らずのうちに拡散していると予想されます。この期におよんで、高齢者や有病者が自分を守らんとするならば、東京都が無症状や非常に軽症な感染者を明らかにすることで、彼らとの距離を保って生活できるようにでもしなければ生命の危険から逃れながら生活することは難しいでしょう。

感染事例からみなさんが注意すること

- 1) 換気設備の使用に際しては窓を開けて換気を行う（サッシ上の小さい給気口しかない当マンションの場合は窓を開けて換気をして使用する）
- 2) 臭気などの発生が気になる場合にはキッチンやバスルーム、トイレ、洗面台、洗濯機パンなどの排水口（トラップ）にこまめに給水する
- 3) 排水管（下水管）の漏水を放置せず、早めに確実に修繕する（下水の漏水で建物内感染が広がる可能性があります。）

4) 長期間不在にする場合にはバスルームや洗面台などの排水口をサランラップなどで覆い、飛沫や臭気の居室内への侵入を防ぐ

マンション居住者と管理員の安全確保について

マンションでの感染拡大防止においては、情報提供をはじめとしてマンション管理会社の役割は非常に大きいものがあります。可能な限り居住者の安全を確保することを最優先として業務を行うことが望まれますが、管理会社社員や管理員も同じ人間だということで、管理組合員の皆さんも率先して安全を確保しなければなりません。

マンションで感染者が出た？

感染者の対応をする従事者は、呼吸器症状のある患者を援護する時にはサージカルマスクを着用し、手指衛生を遵守するといった標準予防策に加え、接触、飛沫予防策を行う。呼吸器症状のある患者には、サージカルマスクを着用させ、移動は医学的に必要な目的に限定することになりますが、一人住まい等の場合はいったい誰が援護や介護するのでしょうか？

皆さんはウイルス感染を知ってからどのような自衛策を実行されましたか？

- 1) エントランス等の消毒に加え、入館者等の手指消毒剤を設置しましたか？
- 2) 人が多く触れる共有部分は消毒していますか？ドアノブやエレベーターボタン等
- 3) 自衛のためにご自分は何かなさいました？共同住宅に住む誰か他の人に任せっきりじゃないですか？
- 4) 管理員さんや清掃人さんの感染予防を考え時差通勤等をご検討なさいましたか？
- 5) 管理人及び清掃人用にマスク・手袋・消毒液（ビルメン支給）を用意されましたか？
- 6) 再三、掲示いたしました手洗い・マスク着用を実行されていますか？

用語の解説

ダイヤモンド・プリンセス号の搭乗者や調査班の「サテライトアウトブレイク」限られた範囲から日本国内全般に感染が広がるアウトブレイク（集団感染）。これが世界に広がるとパンデミック（世界的流行）になる。

管理会社として何をしなくてはならないか？

先般、厚生労働大臣が、別添「新型コロナウイルスを防ぐには」を発表し、国民に「咳エチケット」や「発熱等の風邪の症状がみられるときは、学校や会社を休む」等について呼びかけがありました。これを受け、所属マンション管理士や管理組合へ別添資料を通じて新型コロナウイルスを防ぐ対策を周知徹底する旨の通知が国土交通省を通じて管理会社へ通知されました。

感染拡大を防ぐために皆さんが同意して実践しなければならない対応とは？

- 1) マンション住民に感染者が出た場合、黙って居れば良いのでしょうか？共同住宅建物内で感染者が出たことを他の居住者に通知し安全を確保する必要があります。個人のプライバシーの問題以前に、高齢者・有病者等の多くの方々の生命を守る意味からも通知は絶対に必要と思います。個人のプライバシーや権利とその他大勢の公共権が衝突する問題ですが、このままでは感染を拡げてしまうことになりかねません。
- 2) これからは、特措法や保険適用のルールに従って検査及び消毒等を受けることになるでしょうが、感染者収容施設が非常に少ないことから自宅療養になることが予想されます。そのことを想定してマンションとしての対応を考えておかなければなりません。
- 3) エントランスやエレベーターの消毒は誰がやるのでしょうか？それとも、やらないのでしょうか？
- 4) 建物の構造的につながっている箇所（排水管）について注意しなければなりません。同時に、それ以外につ

ながっている箇所があるか調べる必要がありますが、誰がしらべるのでしょうか。空室や臭気抜きは？

5) 感染者の生活を援助しなければならない状況が発生した場合において、いったい誰が危険を冒してでも援助するのか？援助する場合の準備や手段等を検討してください。

東京の検査実態に対する意見について

検査数が少ない理由として「感染症対策課と協議するなどして検査が決まれば、病院で採取した検体を都健康安全研究センターで検査する」となっており、自らの枠を狭め感染者数を低く抑える操作をしております。厚生労働省や専門家の見通しなのか苦肉の作なのか、検査数が少ない事だけは事実です。その説明として、検査と法律による医療崩壊を防ぐためと答えています。事実、現状ではコロナ感染が発覚した時点で東京の受け入れ病床は合計で118床しか無く、感染者が急激に増えた場合は法的に受け入れが無理なことがわかることから、時限立法や特措法で「指定感染症」を代える必要があります。それ以外では「検査数をもっと増やしたいと思っても、現状はマンパワーの限界もあり厳しい」と言っているが、民間検査機関を使いたくても意図的に使わなかったことが伺えます。台湾が1月から動いていることに比べても、手遅れと言って良いような判断の甘さと決断実行の遅れは否めません。武漢や浙江省と濃厚接触者しぼり自体、12月から1月中旬までに行うことであり、クルーズ船に気を取られ国内感染を疎かにしながら、その後暫く続けたことが余計な足かせとなってしまいました。新型コロナウイルス感染症における軽症者の早期受診を推奨すべきでないとする医者や専門家が居るようですが、お亡くなりになられた世界の方々とその家族にとっては慰めにもなりません。もっと真摯に、現在進行形の未知なる危険をはらんだ恐ろしいウイルス感染として慎重に発言しなければなりません。

一般社団法人日本環境感染学会のお知らせ

家族に新型コロナウイルスの感染が疑われる場合に、家庭でどんなことに注意すればよいでしょうか？ご家族に新型コロナウイルスの感染が疑われる場合には、同居されているご家族は以下の8点にご注意ください（詳しくは、一般社団法人日本環境感染症学会とりまとめをご参照ください。）。

ご本人は外出を避けてください。ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出を避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などには行かないようにしてください。

(1) 部屋を分けましょう

個室にしましょう。食事や寝るときも別室としてください。

子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ち、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。**住宅事情から無理なところが多い。**

(2) 感染が疑われる家族のお世話はできるだけ限られた方で。

心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが、感染が疑われる家族のお世話をするのは避けてください。**居ない方々は誰がするのか。**

(3) マスクをつけましょう

使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。

マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗ってください（アルコール手指消毒剤でも可）。

マスクが汚れたときは、新しい清潔な乾燥マスクと交換してください。マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆いましょう。

(4) こまめに手を洗いましょう

こまめに石鹸で手を洗いましょう。アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

(5) 換気をしましょう

部屋は定期的に換気してください。共有スペースや他の部屋も窓を開けましょう。

(6) 手で触れる共用部分を消毒しましょう

物に付着したウイルスはしばらく生存します。ドアの取手やノブ、ベッド柵など共有部分は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。**誰がするのでしょうか？**

※家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、濃度が0.05%（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25ml）になるように調整してください。

トイレや洗面所は、通常の家計用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。感染が疑われる家族の使用したものを分けて洗う必要はありません。

洗浄前のものを共有しないようにしてください。特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどで共有しないように注意してください。

(7) 汚れたりネン、衣服を洗濯しましょう

体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。

※糞便からウイルスが検出されることがあります。

(8) ゴミは密閉して捨てましょう

鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに手を石鹸で洗いましょう。**マンション内を歩いて捨てに行くのか？**

これまで記載いたしませんでしたが、本気でやるならば委託業者や出前からの受け渡し、友人・家族等の来街者の制限や入館条件（マスク着用・消毒・体温検診）を考えるのと、感染対策及び事故防止等について何処が議論して決定するのかがはっきりしなければなりません。行政からは返答無し

例えば他の感染症対応から抜粋すると

- マンションの課題を集約し、感染対策の方針・計画を定め実践を推進する。
- 決定事項や具体的対策をマンション全体に周知するための窓口を設置する。
- マンションにおける問題を把握し、問題意識を共有・解決する場となる。
- 感染者の把握から始まり、感染症が発生した場合、何処の誰が指揮の役割を担う。

発生が確認できた場合の対応

<嘔吐物、排泄物の処理>

- 嘔吐物の処理の手順を徹底します。
- マスク、防護服等、使い捨て手袋を着用します。**誰が用意するのか？**

※新型コロナウイルスは飛沫感染の可能性も指摘されているので、マスクもします。**防護服の入手は？**

- 嘔吐があった場合には、周囲 2メートルくらいは汚染していると考えて、まず濡れたペーパータオルや布等を嘔吐物にかぶせて拡散を防ぐことが重要です。
- ペーパータオルや布等で、外側から内側に向けて面を覆うように静かに拭き取ります。
- 最後に次亜塩素酸ナトリウム液（0.1~0.5%）で確実にふき取ります。使用したペーパータオルや布はビニール袋に入れます。

※嘔吐物処理用品を入れた処理用キットをいつでも使えるように用意しておきます。

- おむつをはずしたら、すぐにビニール袋に入れ（二重にするとなお安全です）感染性廃棄物として処理します。
- トイレ使用の場合も換気を十分にし、便座や周囲の環境も十分に消毒します。
- 使用した洗面所等はよく洗い、消毒します。
- 処理後は手袋、エプロン、マスクをはずして液体石けんと流水で入念に手を洗います。脱ぐ時に注意しなければ感染の可能性が高くなります。
- 次亜塩素酸ナトリウム液を使用した後は窓をあけて、換気をします。

<洗濯>一人住まいの場合は？

- シーツ等は周囲を汚染しないように丸めてはずして、ビニール袋に入れます。
- 衣類に便や嘔吐物が付着している場合は、付着しているものを軽く洗い流します。
- 次に次亜塩素酸ナトリウム液（0.05%～0.1%）につけます（10分程度）。

あるいは、85℃以上で1分間以上熱湯消毒します。

- 洗濯機で洗濯して乾燥させます。
- 布団に付着した場合の処理方法については、厚生労働省ホームページに掲載されている「ノロウイルスに関するQ&A11」のQ20を参照してください。

<食事>一人住まいの場合は？

- 入所者に対しては、水分・栄養補給を行い体力が消耗しないようにします。
- 1日を通じた水分摂取を心がけます。

<入浴>

- 症状が落ち着き、入浴できる状態であれば、1週間ぐらいは最後に入浴するようにします。症状がおさまっても最大4週間程度ウイルスが便から排出されると言われています。
- 入浴後の洗い場やタオル等の洗浄に加え、しばらくは消毒も実施します。

東京の新型コロナウイルス検査が意図的に遅れています。医療崩壊を防ぐためとされていますが、無症状や軽症の人達が今現在も感染を拡大させていることを考えれば、政府・感染症専門家の思惑が外ればかえって被害を大きくしてしまう両刃の剣となってしまうことも十分考えられるわけです。そのために、イベントや不用不急の外出を控える要請に加え、日本人のマスクや消毒といった衛生環境に期待するところです。それにしても、高齢者や有病者の重症化や致死率が高いことを考えると、苦しい判断を求められることが続くような気がいたします。お亡くなりになられた方々にとっては慰めにもなりません。